

医療ニーズ; 入れ歯安定剤のはがし剤



医療ニーズ提案部門
滋賀医科大学 医学部附属病院 歯科口腔外科



「入れ歯安定剤を簡便に取り除きたい」

歯科口腔外科

<http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/department/dentistry/index.html>

■ ニーズの背景

- 合わない入れ歯はまずは歯科で調整してもらうのが原則とされているが、どうしても義歯があわない場合、患者は安定剤を使いたいと思っている。患者側は、食べ物をしっかりかみたいということだけでなく、歯が浮くと顔つきが変わる、口元を気にせず会話したい、など生活の質に関するニーズは多様である。
- 多くの患者は入れ歯安定剤を使用するが、歯科医師・歯科衛生士は口腔ケアの際、その除去に大変な苦勞を強いられている。

■ 現在の対応方法

- 時間をかけて、歯科医師や歯科衛生士が丁寧に取り除く作業をしている。

■ 使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- 義歯安定剤の市場規模
120億円(日本歯科医師会雑誌 61(3), 210-217, 2008)
(日経メディカル 2002年10月16日Web記事では1,000億円とも)

【イメージ・参考例】

現状の入れ歯安定剤



機能アイデア例

- 直ぐにはがせる安定剤(素材)
- 後からはがす機能素材
- 繰り返し利用できる機能

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp